

兵庫県災害医療センター 公的医療機関等2025プラン

平成29年3月 策定

【兵庫県災害医療センターの基本情報】

医療機関名：兵庫県災害医療センター

開設主体：兵庫県

所在地：神戸市中央区脇浜海岸通 1 - 3 - 1

許可病床数：30床

（病床の種別）

一般

（病床機能別）

高度急性期

稼働病床数：30床

（病床の種別）

一般

（病床機能別）

高度急性期

診療科目：

内科、循環器内科、神経内科、外科、心臓血管外科、整形外科、形成外科、放射線科
麻酔科、救急科

職員数：153人（平成29年3月時点）

- ・ 医師 29人
- ・ 看護職員 95人
- ・ 専門職 13人
- ・ 事務職員 16人

【1. 現状と課題】

① 構想区域の現状

② 構想区域の課題

③ 自施設の現状

④ 自施設の課題

【2. 今後の方針】 ※ 1. ①～④を踏まえた、具体的な方針について記載

① 地域において今後担うべき役割

災害医療センターは、高度救命救急センターとして、ドクターカーや救急ヘリ等の積極的な活用を図り、重篤な救急患者に対する救命医療を担うとともに、広範囲熱傷や指肢切断等の特殊救急疾患患者に対応する医療を行っており、今後も引き続きこれらの役割を担う。

また、基幹災害拠点病院として、県災害医療システムの中核施設であり、災害時における医療に関して司令塔的役割を担っており、今後も引き続きその役割を担う。

② 今後持つべき病床機能

三次救急医療機関としての役割を果たすとともに、一層多くの病院と連携することで、救命救急患者を受け入れる病院を目指す。

後方病院での受入困難な患者は、呼吸管理を要するあるいは複数診療科にまたがる外傷等を抱えているなどの特徴があるので、こうした障壁を乗り越えていく対策を当センター、後方病院双方でとっていく。

③ その他見直すべき点

災害時の患者受入体制の強化を図るとともに、引き続き災害医療従事者研修や救命救急士、災害専門ボランティア等に対する研修や訓練の実施、救護班（兵庫DMA T）派遣体制の強化を図る。

さらに、災害コーディネーター研修や南海地震等の自然災害やNBC災害等に対応する災害拠点病院の協力体制を整備する。

【3. 具体的な計画】 ※ 2. ①～③を踏まえた具体的な計画について記載

① 4 機能ごとの病床のあり方について

<今後の方針>

	現在 (平成28年度病床機能報告)		将来 (2025年度)
高度急性期	30	→	30
急性期			
回復期			
慢性期			
(合計)	30		30

<年次スケジュール>

	取組内容	到達目標	(参考) 関連施策等
2017年度			<div style="border: 1px solid blue; padding: 5px; display: inline-block;"> 集中的な検討を促進 2年間程度で </div>
2018年度			
2019～2020 年度			<div style="display: inline-block; background-color: #f4a460; padding: 5px; margin-right: 5px;">第7期 介護保険 事業計画</div> <div style="display: inline-block; background-color: #c8e6c9; padding: 5px;">第7次医療 計画</div>
2021～2023 年度			<div style="display: inline-block; background-color: #f4a460; padding: 5px;">第8期 介護保険 事業計画</div>

② 診療科の見直しについて

検討の上、見直さない場合には、記載は不要とする。

<今後の方針>

	現在 (本プラン策定時点)		将来 (2025年度)
維持		→	
新設		→	
廃止		→	
変更・統合		→	

③ その他の数値目標について

<p><u>医療提供に関する項目</u></p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 病床稼働率：85% ・ 手術室稼働率：救急患者に対応する ・ 紹介率：100% ・ 逆紹介率 100% <p><u>経営に関する項目*</u></p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 人件費率：79.3% ・ 医業収益に占める人材育成にかかる費用（職員研修費等）の割合：1.2% <p>その他：</p>
--

* 地域医療介護総合確保基金を活用する可能性がある場合には、記載を必須とする。

【4. その他】

(自由記載)

--